

第2学年1組 学級活動指導案

日 時：平成25年10月24日（木）5校時

授業会場：2年1組教室

指導生徒：2年1組（男子20名女子20名計40名）

授業者：栗谷川 敦子

1 題材 「自主的な学習態度の形成と学級の協力」

(3) 学業と進路 イ「自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用」

2 題材設定の理由

本学級では、各定期テストを各学期のそれぞれの大きな節目と捉え、学級活動において、テスト計画とその取組反省に継続して力を入れてきた。実際に、日々の学習や進路に関する情報収集を行い始める生徒が見受けられる一方で、学習上の悩みや進路選択に関する不安をもつような場面も少なくない。学級内でのアンケートによれば（表1）、自らの取組に約半数が達成している状況であるが、同じく約半数は達成率が低い傾向にある。このような不安や悩み、あるいは自分の目標を達成できないなどの理由から、生徒の中には無気力傾向に陥ったり、焦りやいらだちで家族や友達とトラブルを起こしたりといった、この時期特有の行動面での特徴が表出されることもある。このことの原因は、学習だけではなく、様々な要因が考えられるが、お互いが目標をもち、お互い支え合えるような集団作りこそが今の学級には必要で、そのことが様々な心の不安や行動面での不安定さの大きな受け皿になるとも考えている。

本時は、あと1ヶ月後に迫った2学期末テストに向けて具体的に動き出す時期に重なる。そこで、改めて自らの学習、これまでの授業の取り組みについて振り返りながら、2学期末テストへの取組目標を自己決定させたい。従前までの授業の進め方では、個人の目標はあくまでも個人内で考え、完結していた。今回からは、①生徒が自らの学習に対する不安や悩みをしっかりと見つめること、②誰もがこの時期特有の不安、悩みを抱えているということに気づくこと、③不安、悩みについて率直に学級の仲間と語り合えるようにすること、の大きく3つ場の設定によって、課題解決のための手立てや方法について仲間と共に考えさせたい。同時に、次時の議題として扱いたい「学級の協力」（内容（1）学級や学校の生活づくり ア「学級や学校における生活上の諸問題の解決」）に関連させ、④個人の目標は、学級という集団抜きに高められないことについての自覚を促し、学級としてこれからの授業にどう取り組むべきかについて考えを広げることで、目標に向かって個人が頑張ることはもちろん、集団としての協力や励ましなどの望ましい集団活動の在り方について考えを及ばせたい。

表1

2学期中間テスト反省 (達成度 %)	0~20%	21~40%	41~60%	61~80%	81~100%	学級平均
テストに向けた学習	4人	6人	6人	14人	5人	58.3%
テスト	6人	11人	6人	9人	3人	49.9%
テストの目標	8人	5人	8人	5人	9人	53.3%

表2

	なし	1教科	2教科	3教科	4教科	5教科
目標点に達した教科	13人	6人	8人	3人	3人	1人

表3

	はい	いいえ
目標点数（合計）に達しましたか	6人	29人

3 指導のねらい

(1) 進路実現に向けて学習に対する不安、悩みを見つめ、前向きに解決しようとする態度を育てる。

4 評価の観点と評価規準

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	学習の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、個人の目標設定などを通し、学級の仲間と支え合い、共に高めようとしている。	不得意教科の克服や自分にふさわしい学習方法、教科学習での悩みを共有し、自己と向き合うと共に、その解決のために各自ができることについて考え、判断し、実践している。	定期テスト等の計画、取組反省などを通して、学習の大切さや進路を見据えた計画的な学習の大切さや自分にふさわしい学習方法（実践の仕方）を理解している。

5 展開の過程と経過

(1) 事前と事後の指導と生徒の活動

期 日(曜)	活動の場	活動の主体	指導の内容	指導上の留意点
6月5日(水)	学級	教師	1学期期末テスト計画	目標をしっかりと決める
6月27~28日(金)	学級	生徒	1学期期末テスト	
7月8日(月) ~1週間の期間	学級	教師	1学期期末テスト反省	目標・計画にそって成果・課題を明確にする
	学級・授業 帰りの会	学習委員会	授業態度向上取り組み	毎時間の授業の評価を帰りの会で発表する
7月10日(水) ~3日間	学級	教師・班長	授業に集中できる班を決める	班長の意見を最大限尊重して決める
9月11日(水)	学級	教師	2学期中間テスト計画	今まで以上に、目標をしっかりと決め、計画を吟味してたてる
9月27日(金)	学級	生徒	2学期中間テスト	
10月4日(金)	学級	教師	2学期中間テスト反省	目標・計画にそって成果・課題を明確にする
10月9日(水) ~3日間	学級	教師・班長	授業に集中でき、生活がしっかりできる班を決定	班長の意見を最大限尊重して決める
10月24日(木) <本時>	学級	教師	目標を達成させるための「学習」を考えよう	一人一人に、実践していかうとする態度を意識させる
11月5日(火)	学級	生徒・教師	目標を達成させるための「学習」を考えよう (学級会)	一人一人が、学級の問題を解決していかうとする意識を育てる
11月6日(水)	学級	教師	2学期期末テスト計画	目標を達成させるために計画を吟味してたてる
11月21日~22日	学級	生徒	2学期期末テスト	
11月29日(金)	学級	教師	2学期期末テスト反省	目標・計画にそって成果・課題を明確にする

(2)本時の活動テーマ

目標を達成させるための「学習」を考えよう

(3) 本時のねらい

学習についての悩みや問題を知り、話し合うことを通して、今後の学習について改善点を見つけ出し、実践しようとする意識と態度を養う。

(4) 本時の展開

段階	活動の内容	○指導上の留意点 ◎目指す生徒の姿(観点)【評価方法】	・資料等
活動の開始	1 これまでの「学習」を振り返る ①前回テストの反省やアンケート結果を提示。 ②気付いたことを発表。	○自分の「学習」を客観的に振り返る。 ・前回テストの取り組みについて。 ○心の数直線(個人)。 ・普段の学習について一人一人が発表。 ○心の数直線(学級)の結果を提示する。 ・普段の「学習」に対する思い。	・テストファイル ・アンケート結果 ・毎日の記録「DAYS」 ・学習プリント
	2 本時の活動を知る	目標を達成させるための『学習』を考えよう	
活動の展開	3 「学習」の課題・悩みなどを出し合い、それについてグループでアドバイスし合う ①問題・悩みを出し合う。 ②問題・悩みについてグループでアドバイスする。	○互いの課題・悩みなどを出し合い、理解させる。 ・以前の学習プリントより、問題・悩みを発表する。 ・学習プリントに記入する。 ・グループ隊形になり、個人のプリントを回しアドバイスを記入する。(4人×10グループ) ・記入してもらったアドバイスを読む。	・テストファイル ・学習プリント
	4 「学習」の課題・悩みなどを解決する方法を考える ①アドバイスをもとに感じたことを発表する。 ②解決方法を考え話し合う。	○グループからのアドバイスを見て、感じたことを発表する。 ○課題・悩みなどを学級で共有し、その解決に向けて具体的な方法を話し合う。	
	5 目標達成に向けて、これからの「学習」をどうしていくか考える。	○「自分」は今後どうしていくのか、個人で考え、プリントに記入する。	
活動のまとめ	6 解決方法を振り返り、感想記入と自己評価を行う	○個人の決定を発表し、共有する ◎本時を振り返り、学習についての悩みや問題を知り、共有し、その解決のために自分ができることについて考え、判断できたか。【プリント記述による】	・テストファイル ・学習プリント

(5)本時の評価

学習についての悩みや問題を知り、話し合うことを通して、今後の学習について改善点を見つけ出し、実践しようとしていたか。